

# 査証部



C. アダムズ参事官  
● 移住担当



P. A. リリアス2等  
書記官 ● 移住担当



永野一郎 イミグレーション・プログラマー・オフィサー

と、一時滞在者の渡航事務の二分野がある。

移住に関する事務は、査証部の最も重要な仕事のひとつだ。カナダへの移住は、この三年間、増加の一途をたどり、今年は千人近くに達するだろうと予測されている。とくにカナダで小規模の事業経営を始めるための移住者が多く、これは企業移民を優遇するというカナダ政府の方針とも合致するために、査証部では、企業移民希望者に対して情報の提供や相談に応じるなど、いろいろな便宜を図っている。

日加間には現在、ビザ協定が結ばれており、三か月以内の観光ならビザを必要

日加交流の進展を反映して、日本からカナダへ渡航する人の数は年々増えている。査証部では移住、就労、留学などのために渡航を希望する人や、観光でカナダを訪れる在日外国人のビザ申請を取り扱っている。

部内の仕事は大きく分けて、移住希望者の審査・ビザ発給

# 関税・消費税局

物や人が日本からカナダに入ってくる際に、それに適用される関税上の規則や手続きについて、違反のないように日本人々々にあらかじめよく知ってもらうのが主な任務である。日本の企業や貿易団体、政府機関などからの問い合わせに際したり、あるいは一般旅行者からの質問



J. A. バローズ  
大使館付関税官



V. W. J. ゴードロー  
駐在関税担当官



R. G. ロビンソン  
駐在関税担当官



P. テローム  
駐在関税担当官



新井 充  
関税アナリスト



上野山輝二  
関税アナリスト

# カナダ政府観光局



D. M. マルサン  
所長



D. J. キャメロン  
副所長



鈴木富雄 トラベル・プロモーション・オフィサー



横山 修 トラベル・プロモーション・オフィサー

に應じるなどして、カナダの関税規則をめぐる両国の関係を円滑にし、通商関係



箱田善哉  
関税アナリスト



中井正男  
関税アナリスト

広大でバラエティに富む国土と美しい自然に魅かれて、日本からカナダを訪れる人々は年々ふえている。観光、スキー、釣り、商務と、目的はさまざまだが、昨年だけでおよそ十六万三千人がカナダへ旅行した。

カナダ政府観光局東京事務所は、一九六六年に設置されて以来、日本からの観光客誘致を進めてきた。新聞、雑誌やテレビによる広告キャンペーン、マスコミ関係者に直接カナダの良さを確かめてもらう招待旅行計画、業界のツアー企画者に新しいバック・ツアアを開発してもらったためのテスト・ツアア、一般の人々を



斎藤 純  
観光情報担当官



西尾理英子 (出向)  
● PR担当

者などからの問い合わせや相談に快く応じている。

を発展させ、あるいは観光をさかんにし、ひいてはカナダの産業発展を促進するのがねらいである。



カナダの見所を紹介した映画、写真、ポスターもたくさん制作しており、旅行代理店や関係者向けに無料で提供あるいは貸し出している。